

第32回 林忠彦賞

ベンゾウ エスキース

BENZO ESQUISSES 1920-2012

奥山 淳志(おくやま あつし)



25歳の春、雑誌の取材で北海道新十津川へ。ログハウスの歴史を紹介する特集だった。そこには終戦直後に建てられた丸太小屋があった。所有者は井上弁造さん、78歳。その小屋は自らが創った「庭」と呼ぶ八千坪の森や畑に囲まれていた。急激な経済成長に疑問を抱き、行き詰った時に帰れる場所としてそこで自給自足の生活を送っていた。

焦点を当てたものだ。1920年同地に生まれた弁造さんは、北海道開拓の最後の世代で、夏は農業を手伝い冬は東京で洋画を学んでいた。戦後は出稼ぎや日雇の仕事ですこし離れたこともあったが生涯にわたり絵を描き続け2012年92歳で亡くなった。晩年の夢は個展を開くことだった。モチーフは裸婦や母娘などの女性像で、独身を通した弁造さんからは想像もつかなかった。描いた理由も分からず、しかもエスキース(習作)ばかりで完成作は母娘像の1点のみ。奥山さんはこのエスキースを通して弁造さんの「生きること」を考え直したいと思っていた。

1972年大阪生まれの51歳。奈良で育ち、京都外国語大学を卒業、東京の出版社に。その後はすでに決めていた岩手県雫石に移住し、写真家としてスタートした。テーマは「人」と「東北の風土や文化」。なかでも弁造さんの膨大な作品群は作家活動の中心を貫く代表シリーズとなっている。

エスキースは普段、丸太小屋の窓から射し込む光で見ている。しかし丸太小屋は遺言により今はない。これに似た光は…。奥山さんは「庭」にエスキースを持ち出した。そして弁造さんが植えた木々の下で撮影を始めたのだ。そこにはあの窓下と見紛うばかりの光があった。エスキースが息を吹き返すのを感じ取った瞬間だった。

大きく見ていくと、2008年の写真展「明日をつくる人」に始まり、2012年、弁造さん亡き後は、2018年、写真集『弁造 Benzo』、2019年、写文集『庭とエスキース』と続き、2023年に出版した写真集が今回の受賞作となった。

奥山さんの作品が新鮮なのは、着地点を定めず、絶えず未来を描きながら展開していくところだ。それが見る人の心を捉え、自然と弁造さんの世界へと入り込んでいけるからだと思う。

当初はドキュメンタリーの要素が強いが、死後は弁造さんとの14年間に及ぶ記憶を基に、他者とは、死生とは、存在とは…と、止めどなく浮かんでくる問いに答える独自の写真表現へと変わっていった。

弁造さんにとって「生きること」とは、「庭」を愛し、絵を愛し続けることだったのではないのか。

受賞作は、弁造さんが遺したもので「庭」が社会的なメッセージだとすれば、唯一の持ち物であった私的な「絵」に

現在、奥山さんが弁造さんの夢を繋ぎ、エスキース展が全国で巡回されている。これからは多くの人が弁造さんの人生を伝えることになるだろう。(周南市美術博物館館長 有田順)



第32回林忠彦賞 決定

「BENZO ESQUISSES 1920-2012」(ベンゾウ エスキース)

奥山 淳志(おくやま あつし)



奥山さんは北海道の大自然の中で暮らす井上弁造さんに25歳のときに会いました。彼の暮らしぶりや生きかたに感銘を受け、弁造さんが亡くなったのも現在まで26年にわたり、彼の生きざまを写真で伝え続けています。絵描きへの夢は叶わなくても生涯絵を描き続けた弁造さん。彼が遺した絵を通して、人間が生きるということを見つめ、絵の中に弁造さんの心情や思いを読み解いていこうとする表現の斬新さが高く評価されました。写真集には、詩情豊かな雰囲気が漂います。作者の弁造さんへの愛情あふれる温かいまなざしが感じられる作品です。

受賞記念写真展

4月20日(土)～29日(月・祝)
周南市美術博物館

観覧
無料

奥山 淳志

プロフィール

1972年大阪府生まれ、奈良県育ち。京都外国語大学卒業。1998年岩手県雫石に移住し、写真家として活動を開始。第40回伊奈信男賞(2015年)、日本写真協会新人賞(2018年)、第35回写真の町 東川賞 特別作家賞(2019年)、令和3年度岩手県美術選奨(2022年)

参加者募集 ※事前申込み

■ 授賞式 4月20日(土)14:00～16:00

会場/遠石会館 千歳の間
・第一部 授賞式
・第二部 大石芳野選考委員長講演会
定員/40名(先着順)

■ 奥山淳志氏トークショー

4月21日(日)10:30～

会場/美術博物館 講座室
話し手/奥山淳志氏
聞き手/有田順一(館長、林忠彦選考委員)
定員/40名(先着順)

※いずれも電話でお申し込みください(周南市美術博物館 0834-22-8880)

参加
無料

まどさんについてのおはなし会 報告

周南市出身の詩人まど・みちおさんの命日(2月28日)にちなんで、例年、まどさんにゆかりの方をお招きして「まどさんについてのおはなし会」を開催しています。今年は、詩人のたちよしこさんをお招きして、2月25日に開催しました。はたちさんの詩集「レモンの車輪」(銀の鈴社)の挿絵をまどさんが手がけています。

はたちさんには、穏やかで優しい語り口調で、まどさんの作品との出会いやまどさんとの交流についてお話いただいたほか、まどさんやご自身の詩を朗読もまじえて紹介していただきました。参加者からも、「まどさんを身近に感じられた」、「まどさんの詩をあらためて読んでいきます」といった感想が寄せられ、まどさんご自身と作品の魅力をあらためて発見した時間となりました。



LAWSON

母の日
ギフト

2024 5.12 sun Mother's Day

LAWSON STATION

ローソン徳山動物園前店 0834 32-8363

※画像はイメージです。

美博クイズ〜!〈123〉 もんだい

第32回林忠彦賞は、写真集「BENZO ESQUISSES 1920-2012」が受賞したよ。エスキースってなんだろう?

ヒント 林賞の記事を読んでみよう

周南市美術博物館
常設展示

- 常設展観覧料：一般200円(160円) 大学生等100円(80円) ()内は20名以上の団体
※18歳以下および70歳以上無料 ※林忠彦賞受賞記念写真展の会期中(4/20~29)は常設展無料
※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳等をご持参の方とその介護の方は無料
- 休館日：月曜日※ただし、4/29開館、翌4/30休館

展示室 3 コレクション展示室

コレクション展“The color” 6/16(日)まで開催中!

カラフル、モノトーン、シック、ポップ。色にはさまざまな特徴があります。今回のコレクション展は色に注目して作品を展示しています。

特別展示では今年の干支にちなみ、龍に関する作品を展示しています。雪舟の流れを受け継ぐ雲谷等益(うんこくとうえき)の力強い龍の作品や、「登龍門」という言葉の由来となった、鯉が描かれている掛け軸なども展示しています。



展示風景



びびびの美
(2024年3月前半号)

今年の干支、龍にちなんだ作品を展示中

特別展示



展示風景

※特別展示は4/29(月・祝)まで

展示室 4 林忠彦記念室

旅路のいろどり

4/2(火)~7/31(水)

「コレクション展“The color”」にあわせて、林忠彦の「長崎 海と十字架」「異郷好日 世界の旅」「東海道」から、色の印象的な作品を展示します。

写真集『異郷好日』(BeeBooks 1989年)で「僕は旅が好きだ。何よりも好きだ。仲間は“旅の林忠さん。”とか、親しい友人は“股旅の忠さん、などと呼ぶほどである」と述べているように、林は自他ともに認める旅好きでした。行き先もさまざまで、「国内は津々浦々、足を踏まないところがない」、外国旅行は「数えてはみないが50数ヶ国を巡っている」とも記しています。

旅先で林はどんな風景を観て、何を写し撮ったのでしょうか。いろどり豊かな旅路を辿ります。



スペイン(「異郷好日 世界の旅」)

展示室 5 まど・みちおコーナー

今回の内容の展示は
6/30(日)まで

全体的には青っぽい画面となっていますが、近づいてみると、クレヨンや水彩絵の具で、青、緑、紫、赤などの色が塗り重ねられていることがわかります。

さらによく見てみると、その上からガラスペンでしょうか、先のとがったものでグルグルと線が描かれています。

私はこの作品から光や波のゆらめきのようなものを感じますが、みなさんはいかがでしょう。

色や形、線などに注目してまどさんの抽象画をご覧ください。



「(タイトルなし)」
1961(昭和36)年8月27日

徳山の歴史 特設コーナー

「徳山毛利家の端午飾り」 4/2(火)~5/31(金)

徳山毛利家には、明治41(1908)年生まれ12代元靖氏の初節句にあたって、元家臣や他家から贈られた武者人形が伝えられています。

びびびの美
(2021年5月前半号)



神功皇后(右)と武内宿禰(左)

ひばく 美博クイズ~! <123> こたえ

エスキースとはフランス語で、作品制作の準備のために描く、下絵、下描き、素案のことだよ。

ちなみに受賞者の奥山淳志さんは、習作(練習のために作品を作ること)と表現しているよ。

これは宮崎進のエスキースだよ。作品を作る過程を知ることもできるね。

宮崎進「孤独な男のためのエスキース」
1990(平成2)年
鉛筆、水彩、紙テープ・紙 当館蔵



ART and HISTORY インフォメーション

周南

周南市美術博物館 ☎0834-22-8880

第32回林忠彦賞受賞記念写真展
奥山 淳志
「BENZO ESQUISSES 1920-2012」
4/20(土)～29(月・祝)

コレクション展 “The color”
～6/16(日)

周南市郷土美術資料館 ☎0834-62-3119

空調工事等のため、
2025年1月10日まで休館

防府

毛利博物館 ☎0835-22-0001

企画展 毛利家の雛まつり
～4/7(日)

山口

山口県立美術館 ☎083-925-7788

奈良大和路のみほとけ
—令和古寺巡礼—
4/12(金)～6/9(日)

萩

山口県立萩美術館・浦上記念館 ☎0838-24-2400

江戸の絵本 ～4/14(日)

萩博物館 ☎0838-25-6447

「萩まちじゅう博物館」20周年記念企画展
再発見 萩の「まち」
～6月(予定)

萩博物館開館20周年特別展示シリーズ
その① ジュリアおたあの書状
～5/6(月・休)

長門

香月泰男美術館 ☎0837-43-2500

没後50年 香月泰男展
第一期1931→1954 ～6/2(日)

下関

下関市立歴史博物館 ☎083-241-1080

企画展 清末毛利家
—毛利一族を救った知られざる大名—
～4/14(日)

～ TOSOH PARK 永源山の中にある美術館～

周南市郷土美術資料館・尾崎正章記念館

※空調工事等のため、2025年1月10日まで休館



当館はふるさと周南市の画家、尾崎正章の作品を中心に、地元の作家の作品を紹介する施設として、1995年に開館しました。空調工事等のためしばらく休館となりご迷惑をおかけします。この機会に尾崎正章の歩んだ足跡を当コーナーで紹介したいと思います。

尾崎正章ってどんな人？

1. 絵との出会い

画家・尾崎正章はどんな子どもだったのでしょうか。
幼少期から青年期までをたどってみましょう。



尾崎正章 19歳
(周東中学卒業写真より)

尾崎正章は1912(明治45)年7月23日、徳山町油屋町(現在の周南市本町)に5人兄弟の3番目として生まれました。尾崎家は、祖父の代からの医者の家で、1921(大正10)年福川で医院を開業していた祖父が亡くなり父が跡を継いだため、福川に移りました。ちょうど小学4年生になる時でした。



その後、徳山中学(現山口県立徳山高等学校)に入学。入学のお祝いに伝馬船(てんません)を買ってもらい、その船で大津島あたりまでよく釣りに出かけた伝馬船…木造の小型和船 といいます。幼い頃から近くの浜辺で遊んだり、伝馬船で釣りに出かけたりと、尾崎の少年時代の思い出は海へとつながっています。その経験は海の風景を描きつけた尾崎の原点となりました。

中学では野球部に入り野球に打ち込みますが、2年生の時に胸を患い休学することとなりました。この病氣療養中に野球部のキャプテンに勧められて、彼は絵を描くことに興味を持ち始めました。当時、徳山にあった俳人・久保白船^{注1)}の店に油絵の道具を買いに行くこともあったといいます。



尾崎は自身の少年時代を「多分にセンチメンタルな文学少年であり、竹久夢二の絵と詩が好きで早熟な子でもあった」^{注2)}と振り返っています。

<次回「画家として出発」につづく>

注1) 白船は度量衡器、醤油醸造販売に加え、煙草、文房具、書籍、雑誌を取り扱う店を佐渡町で営んでいた。

注2) 『初音』(1972年12月1日発行)P.61より…尾崎正章が還暦記念に出した文集。それまでに発表した文章をまとめたものである。

参考:「周南市制5周年記念 尾崎正章展」図録(発行 周南市美術博物館)

最新の情報は、当館ホームページでご確認ください。 <http://s-bunka.jp/kyoubi/>



友人達とこの話をするとか、感したり反論したりと反応は様々です。お気に入りも多くは私自身の考え方や人生経験に基づいているように感じます。

クラシック音楽は意外と日常の中で身近にあり、誰にでも感じてもらえるものです。時にはホールへ足を運んで、あなたの特別な一曲をみつけてみませんか。

(西村)

ミニコラム ガス燈

佐渡裕氏は彼の著書『僕が大人になったら』の中で「日本のクラシック音楽はワインと似ている」と思